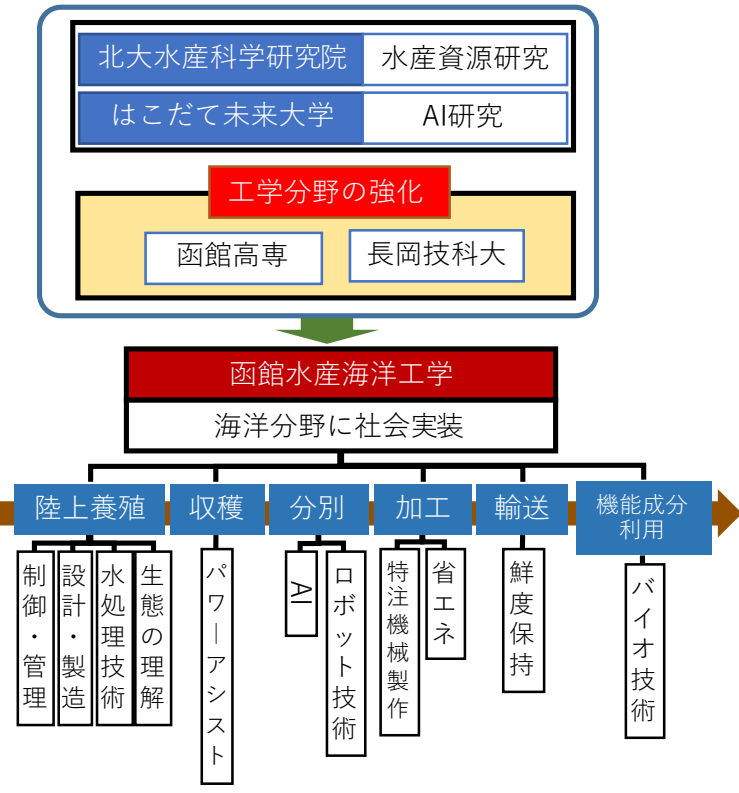


【取り組みの背景・取巻く環境】 漁業者の高齢化、燃料高騰、イカの不漁等が続き、函館の従来型漁業は苦境にある。一方で函館独自の海藻が函館のブランド力も加わって高付加価値製品へと加工され、企業進出も始まっている。

**日本再興戦略：【水産業の成長産業化】 漁業・養殖業を持続可能な収益性の高い操業体制へ転換する  
 高等専門学校の充実について：地域に根差した産学連携による教育研究の推進**

**取り組みの目的** 函館の海に関わる水産科学，AI技術を工学を通して社会実装するための「水産海洋工学」で函館の企業に貢献する

●水産海洋工学イメージ



実施体制	実践	函館高専	長岡技科大サテライトラボ	
		(AI)はこだて未来大学	(水産科学)北大水産科学研究所	
評価	函館市	北大工学部	函館高専地域連携協力会	

工程表	函館水産海洋工学人材プロジェクト工程表						
	5月	7月	9月	11月	1月	3月	H31.4-
水産海洋工学関連	水産海洋工学テーマPBL (陸上養殖関連)		輸送試験・育成試験 (イカor その他)			水産海洋工学テーマPBL (陸上養殖関連)	
教育関連			● 北大水産海洋関連講座受講検討	● 長岡技科大遠隔授業			
その他	● 長岡技科大サテライトラボ開所		● 函館市，函館高専，長岡技科大による水産海洋工学による地域企業支援に関する覚書締結 (時期予定)				

企業技術として実装

○評価指標

函館水産海洋関連のテーマの社会実装の取組みを進める (テーマ数)		
0(H28)	1(H29)	5(H30)
学生が函館水産海洋工学関連の講義・講演・PBL，研究に取組む (学生数)		
0(H28)	4(H29)	20(H30)

第4期中期目標期間への展開  
 水産海洋工学を融合する人材育成の地域水産業への